

●●● 青少年健全育成推進大会 ビバ☆サタデー ●●●



1月26日、あやま文化センターさんさんホールで、青少年健全育成推進大会ビバ☆サタデーを開催しました。

はじめに、新見南吉にいみなきちの童話「手ぶくろをかいに」の影絵劇が上演されました。きれいな背景と、かわいらしい狐の影絵の動き、そして、語り手の話に、会場の人たちは引き込まれていました。

また、「影絵劇ワークショップ」も行われました。家で影絵を楽しむときは、スクリーン代わりに障子やシーツを使い、スポットライトのかわりに懐中電灯を使うとよいそうです。そのあと、手影絵を教わりました。狐からはじまり、かに、犬、鳥、かたつむり、やかん、亀、ウサギ、象、白鳥と、いろいろな動物の手影絵を練習しました。

また、ライトを3台使った影遊びでは、3台のライトをつけたり消したりすることで、分身など色々な動きがあり、会場の子どもたちは驚いたり笑ったりしていました。

●●● 広域連携フォーラム ●●●

1月27日、三重県伊賀庁舎で「広域連携フォーラム2008 in いが」を開催しました。

公立大学法人首都大学東京教授 あきやまつお 秋山哲男さんが『住民参加のまちづくり』をテーマに基調講演を行いました。秋山さんは、段差の無い交差点の整備、電柱・ガードレールなどを一直線にして、歩道のバリアフリー化を地域住民と一体となって実現したことをなど、具体的な実践を例にあげて話しました。

その後、『女性も主体のまちづくり』をテーマにパネルディスカッションが行われました。パネリストからは外国人との共生や子育てなどについて積極的な意見が出され、現在問題になっていることを会場の参加者と一緒に考えました。



●●● 産学官連携セミナー ●●●

市では、三重大学の「知」と市内企業や地域が有する「地域資源」が、人・もの・情報・知識の各段階で連携・協働し、市内企業の高度化や新産業の創出を実現するため、三重大学伊賀研究拠点の設置を進めています。さらに産学官の連携を深め地域の活性化と共同研究の推進を図るため、2月8日に「第2回三重大学発産学官連携セミナー2007 in 伊賀」が開催され、およそ120人が参加しました。

基調講演では、三重大学の2人の教授からバイオテクノロジーやスローライフなどそれぞれの研究についての説明がありました。また三重大学伊賀研究拠点の機能について、三重大学が伊賀市、三重県、地域の企業などと連携して環境・食・文化に関する新産業の育成と地域活性化に貢献し、大学の研究拡充と人材提供を目指すことなどについて説明がありました。



●●● 立地協定調印式 ●●●

2月18日、ウェルサンピア伊賀で、(株)ナンバーズリーがゆめぼりす伊賀クリエイトランドに進出するにあたり、独立行政法人都市再生機構および三重県の立



会のもと、立地協定調印式を行いました。今岡市長は「ゆめが丘には、三重大学の研究拠点を建設する予定で、企業からも研究課題を出していただきたい」とあいさつしました。

また、(株)ナンバーズリーの堀田社長は「伊賀市は三重県が進めるメディカルバレー構想を担っていると聞きました。これを機にレベルアップしていきたいと考えています」とあいさつしました。調印式の後、行政と企業が共に発展していこうと固く握手しました。



いきいき未来いが 2008

2月16日、「広めよう 女男に参画 家庭・地域の和」をテーマに、ふるさと会館いがで、いきいき未来いが2008を開催しました。

まず、地元の中高生ダンスチーム忍風によるオリジナルダンスで始まり、続いて、俳優・声優として活躍されている増岡弘さんの講演会がありました。



アニメ「サザエさん」のマスオさん役などをしている増岡さんは親しみのある声と語り口で会場をなごませ、仕事上での出来事や自分の家庭でのエピソードなどを話しました。「言葉は使い方によって相手を傷つけたり、笑わせたり、泣かせたりします。会話するときには心のキャッチボールを大切にしてください」という増岡さんの言葉に、会場はあたたかい気持ちで包まれました。

その後は分科会も行われ、音楽療法、芭蕉さんの紙芝居、レーザークラフトの体験があり、市内保育所（園）児による絵画や男女共同参画川柳優秀作品や手作りの男女共同参画カルタなども展示されていました。



放置自転車を撤去

2月6日、JR伊賀上野駅と佐那具駅、伊賀鉄道の駅駐輪場で、放置自転車の撤去作業を行いました。

この日、撤去されたのは、1月25日に行われた調査で付けられた札がはずされないまま、2週間ほど放置されていた自転車です。

撤去後は保管庫に運ばれ、防犯登録などから持ち主がわかったものについては、引き取りの通知を行いますが、持ち主のわからないものについては、その後6カ月間保管されます。

今年は、132台の自転車が撤去されました。

伊賀市では、今後も放置自転車をなくすよう努めるとともに、盗難されてそのまま放置される場合も多いことから、防犯登録も呼びかけていきます。



子育て支援公開講座

2月2日、阿山保健福祉センターで「子育て支援公開講座」を行いました。

この講座は、あやま子育て支援センターが子育て中の保護者や地域のボランティアを育成する目的で行っているもので、高田短期大学育児文化研究センター長の梶美保さんを講師に迎え、『0・1・2歳児の発達と子育て』についてスクリーンの映像を交えての講座でした。

梶さんは、乳児の成長発達と子育て、食事・運動などの生活習慣について話しました。

この日は、育児に関わっている保護者の方が参加し、今後の育児に役立てるとともに、子育て支援について、参加者同士の親睦を深めたことでしょう。



大山田芸術文化祭

2月9日、10日の2日間、大山田芸術文化祭を開催しました。

大山田B&G海洋センターでは展覧会があり、習字や絵画、陶器や生花など、他にもいろいろと展示されていました。たくさんの来場者でにぎわっていて、展示作品を感心しながら鑑賞していました。

また、大山田農村環境改善センターでは、9日に文化公演会として「音と絵本のコンサート」を、10日には芸能大会を行いました。

芸能大会では、市内のサークル団体などによる、うたや踊り、演奏などの発表があり、日ごろの練習の成果を発揮して、会場の拍手を誘いました。

